

各教科等を合わせた指導における、子どもが主体的に活動できる確かな授業づくり ～学習評価に基づく授業改善を通して～

県立千葉特別支援学校教諭 おおさわ ゆうこ
大澤 裕子

1 はじめに

平成29年及び平成31年に公示された特別支援学校学習指導要領では、知的障害のある児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科について、目標や内容、示し方の枠組み等が小学校等の各教科と同様に大幅な改訂が行われた。各教科等を合わせた指導（以下、合わせた指導）についても、カリキュラム・マネジメントの視点に基づいたPDCAサイクルの重要性や各教科の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことの必要性などが規定された。そこで、平成30年度から3年計画で、本校の従前の合わせた指導を改訂の趣旨に則って見直し、学習評価に基づく授業改善を通して、根拠のある合わせた指導の在り方を検討することに取り組んだ。

2 方法

(1)単元計画表の作成と活用

合わせた指導で単元計画表を作成する際に、中心となる教科等を検討し、前単元からのつながりを考え、単元の評価規準を設定し記載する。

(2)PDCAサイクルシート（以下、Pシート）の作成と活用

図1 PDCAサイクルシート

単元全体の評価規準と個の評価基準において、各教科等の内容を記述し、何がどこまでどのように身に付いたかを記録する。

(3)各学部授業研究会の実施

単元計画表及びPシートを活用し、学習評価に基づく授業改善を通じた授業づくりを行う。

3 取組の成果

(1)学習評価を重視したPDCAサイクルの構築

実効性があり機能的なPDCAサイクルの構築を目指して、Pシートを用い、観点別学習状況の評価の3観点で評価規準や評価基準を設定した。学習評価では、3観点ごとに個において何がどこまで身に付いたのか、どのような支援が必要なのか等を示し、その学習評価を根拠として、次単元で目指す各教科等の内容や取組などについて、個別レベルでの授業改善を考えることができた。このような取組の結果、児童生徒の姿を多面的に捉えて、目標設定や学習評価につなげることができるようになった。

(2)合わせた指導の授業づくりの見直し

合わせた指導の授業づくりを各教科の視点で見直し、学習評価に基づく授業改善を通じた授業づくりに取り組んだことにより、合わせている教科等の目標や内容が精選され、合わせる教科等の関連性について整理することができた。

今後は、単元計画表及びPシートを継続して活用できるよう書式の見直しを図っていきたい。また、子供が主体的に活動できる授業づくりについて、授業研究会を通して引き続き検討していきたい。